

医療費を抑えるために  
生活習慣を改善しよう

町総合保健福祉センターで、健康相談に応じます

## ■国の医療費は過去最高を更新

国は8月に、平成21年度の医療費の総額が35兆3000億円に上ったことを報告しました。前年度比で3・5割増、7年連続過去最高を更新したと発表しました。

1人当たりの医療費は27万6000円、そのうち70歳以上は77万6000円、75歳以上は88万2000円と非常に高額となっています。

年々、上昇し続けている医療費について学んでみたいと思います。

## ■本町は全国基準の約1・5倍

本町は、一般被保険者の1人当たり診療費および受診率が、全国と比較した場合、共に約1・5倍という高い水準を示しています。中でも、本町の1人当たりの診療費が前年度

と比較し平成20年度に1・41倍となっていたのが、循環器系疾患といわれる病気で、高血圧や心臓疾患、脳血管疾患などです。

そこで、平成20年度の高医療費に影響を与えている可能性が高い循環器系疾患の上位高額医療受給者を対象に、基礎疾患治療の状況を調べました。上位高額医療受給者の男女比は男性54・5割、女性45・5割と大差はなく、高血圧、高血糖、高脂血症、高尿酸血症のうち1つ以上罹患している人は90・9割という結果でした。

## ■日ごろの生活習慣の改善を

基礎疾患の治療を受けはじめて5年以内の発症が67割を占めています。中には、発症後治療を開始された人もいます。状態が悪くなつてから病院を受診する人も多く、生活習慣の改善が図れないまま高額な医療費を受けるという経過をたどっているようです。治療している人も、まだ病院を受診していない人も、ご自身の健康状態を把握し、生活習慣を改善するよう心掛けてください。

また、町総合保健福祉センターでは、随時、保健師が個別に健康相談に応じますので、気軽にお立ち寄りください。

町住民生活課 ☎096-234-1111(内線106) ✉k1g107@town.kosa.lg.jp

## ■配偶者相談員の紹介 ①

## ●井上英利さん(西寒野区)

## 【自己紹介】

私は、今年3月まで西寒野区長として6年間、JA上益城の柑橘部長として9年間(現在顧問)、土地改良区の理事、町農業委員などいろいろなことをやってきました。

現在、水田60割、果樹園120割をかあちゃんと2人でやっています。特に今まで甲佐になかった晩白柚やデコポンなど付加価値の高い果物を伸ばしていきたいです。何歳になつても、新しい技術や情報を取り入れて、攻めの農業をやりたいと思っています。

## 【相談員としての活動について】

いろいろな皆さんと話をする中で、結婚適齢期を迎えている人が多いの

「ふれあい交流会」の  
登録者募集のお知らせ

配偶者相談員を務める井上さん(西寒野区)

に気がきました。また、自分から進んで結婚相手を探すことが苦手な人が多いことも分かりました。私は、この1年間に15人ほどにふれあい交流会があることを知らせて登録を呼び掛け、5人の皆さんから登録していただきました。

配偶者相談員の仕事は、地味でなかなか難しいですが、1人でも多くの皆さんが幸せな結婚ができますことを夢見て応援していきたいです。

■事務局からのお知らせ  
登録者・参加者を募集

9月現在で、登録している女性は70人まで増えています。交流会参加もキャンセル待ちをしていたという状況です。独身男性(現在27人登録)の皆さんの積極的な参加をお待ちしています。

## ▼対象者

・男性 本町在住で、20歳～49歳の独身男性

・女性 20歳～49歳の独身女性

▼お申し込み・お問い合わせ先

・甲佐町産業後継者育成協議会

「ふれあい交流会」専用ダイヤル

☎080-1705-5339

(事務局・藤本)

・「ふれあい交流会」専用メール

✉kosa\_hu-kouryukai@docomo.ne.jp

町産業振興課 ☎096-234-1111(内線153) ✉k1g207@town.kosa.lg.jp

## 史跡「陣ノ内館跡」発掘調査レポート#3



地元・豊内では「免の山」とも呼ばれる「陣ノ内」

### ■「免の山」と呼ばれる「陣ノ内」の地名の由来

豊内の「陣ノ内館跡」がある地元・下豊内区の人とお話して、  
「陣ノ内」の話です」と言う、なかなか理解されないことがあります。このとき「免（面）の山」のことです」と言うのを納得されます。

地名には、大字や小字、地元につながる名称など多くありますが、意外に地名の重要性はあまり認識されていません。地名は、昔あった建物の名前や土地の由来と密接に関わっており、地名を調べることで地域の起りを知ることができる場合があります。

例えば、先日開催した熊本大学の稲葉継陽教授の歴史講演会で紹介された、豊内の地名である「法念寺」

や「安養寺」は、江戸時代に書かれたとされる『肥後国誌』に登場し、陣ノ内館跡や甲佐（松尾）城の歴史に大きく関わりますが、最近までその場所が分かりませんでした。しかし地元の皆さんへの聞き取りにより、「ふ（う）ねじ」や「あんによじ」と呼ばれる場所があることが分かり、その位置を特定することができました。このことにより、現在の豊内の中世から近世の歴史の一端を、新たに垣間見ることができたことは大きな成果の一つです。

さて、話を戻して、地元の皆さんが「免（面）の山」と呼ぶ、字「陣ノ内」とは、その名のとおり戦の際に大將が座する本陣に由来し、よく城があった場所に使われる地名です。

では、「免（面）の山」とはどういう意味なのでしょう。か。「免」とは、年貢や税を免れた田や畑によく使われた地名ですが、そういった特別な地という記録はありません。また「面」とすれば、集落に面していた、平坦地が一面に広がっていたなどが推測できますが、いずれにしても、結論付けるには難しいようです。

なぜ「免の山」と呼ばれるようになったのか、その由来や歴史などについてご存知の人がいらつしやれば、ぜひ情報をお寄せください。

町教育委員会社会教育課 ☎096-234-1111(内線324) ✉klg110@town.kosa.lg.jp

### ■勘違いしていた「男女共同参画」

私は、「男女共同参画」の言葉を、よく見聞きしていましたが、意味も充分理解せずに、推されるまま「男女共同参画社会推進懇話会委員」を引き受けました。委員になる前は、この言葉は、女性の立場を理解してもらい、社会進出や意見の尊重、地位の向上などを確立させる女性への支援ではないかと思っていました。

しかし、研修や会議などで研さんを重ねていくうちに、私の勘違いであったことに気が付きました。

男女が共に、相手を理解し、尊重し、支え合い、健康で有意義な生活を持続していくための支援。これが男女共同参画社会の目指すところではないかと思うようになりました。

一人でも多くの皆さんが、「男女

## 男女が共に理解し合い 尊重し支え合う社会を



老人施設での職員と入所者との触れ合い(イメージ)

共同参画」に関心を持ち、理解を深め、実践してもらったための情報発信をしていくのが、「私の役目」ではと思っています。

### ■老人施設訪問で感じたこと

私は、ボランティア活動で、老人施設に訪問する機会があります。そこで出会った施設の職員は、入所者に対して、穏やかに接されている姿をよく目にします。

ある施設で、印象に残った光景がありました。入所者がレクレーションで広間に集まり、大正琴の演奏を聴いていました。若い男性職員が車いすのおじいちゃんに寄り添い、同じ目線で話をし、音楽に合わせて背中をたたいたり、一緒に手拍子をしたりしていました。おじいちゃんも知っている歌は声を出し、楽しんでいるのが、笑顔に表れていました。

そこで働く職員が、入所者に対して、親身になって世話をしている姿や、お互いの心の触れ合いを目の当たりにして、私は、とても幸せな気持ちになりました。

(T・S)

### ▼お問い合わせ先

甲佐町男女共同参画社会推進懇話会(事務局・町住民生活課内)

☎096-234-1111  
(内線102)

町住民生活課 ☎096-234-1111(内線102) ✉klg106@town.kosa.lg.jp